

早期コシヒカリの適期収穫と普通期水稻の病害虫防除！

令和7年8月
東 讃 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー
東 讃 農 業 改 良 普 及 協 議 会

早期コシヒカリ収穫時期予測 (8月7日時点)

収穫期は「やや早～平年並み」の見込み

- 向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並み、日照時間は平年並か多い見込みです。(四国地方1か月予報 7月31日気象庁発表)
- 収穫期頃は高温になるため、刈遅れによる胴割れ米が発生しないよう適期に収穫しましょう。

田植時期別 本年と平年との差 (伏石・香南・引田アメダスを参照した積算気温による予想)

田植日	出穂期		収穫期		
	栽培しおり (平年)	本年産	栽培しおり (平年)	本年産 (予想) 中山間地	平坦地
4月10日	7月11日	7月9日	8月13～16日	8月12～14日	
4月20日	7月15日	7月13日	8月14～18日	8月16～18日	8月13～15日
5月1日	7月18～19日	7月17～18日	8月17～22日	8月18～20日	8月15～17日
5月10日	7月22～24日	7月24～26日	8月21～27日	8月25～27日	8月23～24日

早期コシヒカリ収穫の目安

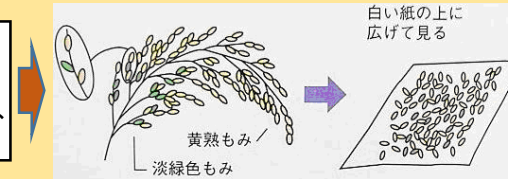
- ①出穂後の日数(出穂後の積算気温) ⇒30日～35日(900～950℃)
(出穂期は少しでも先端が見えた穂を含めて、全体の40～50%が出穂した時期。)
- ②籾の黄変率⇒85%程度
- ③籾の水分⇒25%程度

収穫期の水管理

○落水時期は収穫7日前を目安とし、収穫作業に支障がない限りできるだけ遅らせましょう。

籾の黄変率・水分も確認して、適期に収穫しましょう！

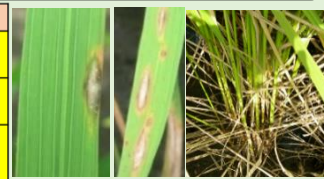
籾の黄変率の判定方法
畦から2m程度入って平均的な株の最長稈の穂をとり、不稔籾を除いて確認する。



普通期水稻の病害虫防除

病害虫の発生は、斑点米カメムシ類が「平年より多い」予報です(8/4病害虫発生予報)。また、ごま葉枯病・葉いもちが局所的に発生しています。斑点米を防ぐ本田2回目の防除や、確認防除を行いましょう。

	防除時期		対象病害虫	使用薬剤・10a当たり散布量(倍率)・回数	
	必須防除 本田1回目 いづれか	出穂20～15日前	出穂10日前	いもち病、稲こげ病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類	ゴウケツモンスター粒剤
出穂直前～穂揃期		ダブルカットバリダフロアブル		1,000倍(水100ℓ) (収穫14日前まで/2回以内)	必要量の水に、規定量のダブルカットフロアブル、スタークル顆粒水溶剤の順に混ぜて散布する。
本田2回目 いづれか		出穂7～10日後	いもち病、紋枯病	スタークル粒剤	3kg(収穫7日前まで/3回以内)
		出穂10～14日後	カメムシ類、ウンカ類	スタークル豆つぶ	250g(収穫7日前まで/3回以内)
確認防除	防除時期		対象病害虫	使用薬剤・10a当たり散布量(倍率)・回数	
	病勢が進展している場合、上位2葉で進展が見られる場合は早急に		いもち病、ごま葉枯病	ブラシフロアブル	1000倍(水100ℓ) (収穫7日前まで/2回)
8月上旬の被害株率が20%以上の場合		コブノメイガ	パダントレボン粒剤L	3kg(収穫30日前まで/3回以内)	
				パダンSG水溶剤	1,500倍(水100ℓ) (収穫21日前まで/6回以内)



熱中症に警戒!

- ①気温の高い時間帯を外して作業を。
- ②なるべく単独作業は避けて。
- ③こまめな休憩、水分補給を。

熱中症の応急処置

- ①立ちくらみや脱力感など熱中症の症状を感じたら、作業を中断。
- ②涼しい環境へ避難、水分・塩分補給など応急処置。
- ③応急処置で症状が改善しない場合病院へ。